

年末賞与(一時金)の支給状況 《最終集計》

- 本協会が実施した年末賞与(一時金)の支給状況調査(最終集計)では、報告のあった92社の支給額平均は48万2583円で、前年と比べ4万8097円(11.07%)上回り、2年ぶりに前年を上回った。昨年は、新型コロナ感染拡大で調査開始以来最大のマイナス(マイナス8.13%)となったが、今年は経済活動の再開を受け、昨年のマイナスを取り返す結果となった。

【最終集計】令和3年年末一時金取組状況

業種	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比金額(%)
製造業計	49	2.03	536,594	12.36
化学	15	2.35	647,078	16.82
機械器具	4	2.27	638,214	14.60
食品	4	2.68	528,646	9.39
金属製品	6	1.46	405,143	-4.09
電気機器	7	1.98	527,594	2.07
その他	13	1.73	445,805	19.54
非製造業計	43	1.78	418,033	6.19
運輸・通信	9	2.02	408,264	12.50
金融	4	2.21	-	-
卸・小売	11	1.83	382,071	-4.23
土木・建設	10	1.87	529,939	12.92
その他	9	1.38	333,810	-4.94
全平均	92	1.91	482,583	11.07

規模	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比金額(%)
100人未満	45	1.72	425,352	2.50
100人～199人	28	1.96	458,696	10.43
200人～499人	10	2.25	578,729	2.90
500人以上	9	2.22	656,710	9.72

※「-」は支給額非公表につき、数値を伏せているが、平均値には含む。

・業種別にみると、製造業は53万6594円で前年と比べ5万9020円、率にして12.36%上回った。2年ぶりのプラスとなった。6つの業種のうち金属製品を除く5業種で前年を上回り、うち化学、機械器具など3業種で2桁のプラスとなった。

・非製造業は41万8033円で前年と比べ2万4368円(6.19%)前年を上回った。3年ぶりのプラスとなった。5業種のうち、卸・小売とその他サービスがマイナスとなったが、運輸・通信、土木・建設が2桁のプラスで全体をけん引した。

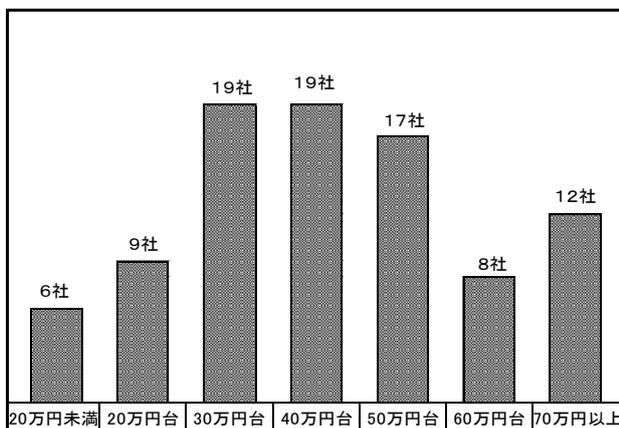
・規模別では、すべての区分で前年を回った。

・支給額の分布では、30万円台から50万円台の3区分で全体の6割以上を占めた。

・60万円以上の20社の業種別内訳は、製造業が17社、非製造業は3社だった。

・前年の支給額と比較できる88社のうち、前年を上回った企業が50社と全体の56.8%を占めた。下回ったのは26社(29.5%)、昨年と同額は12社(13.6%)だった。

支給額の分布



増減率(対前年)の分布

